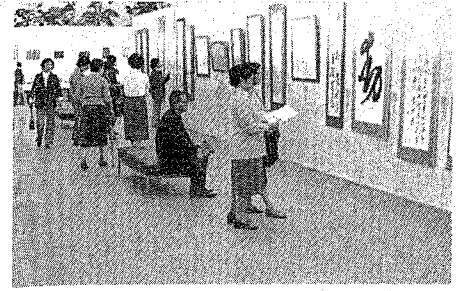
盛りあげよう 市民ぐるみの文化祭

市展と文芸祭に発表しませんか！



市民文化が一堂に集う市展

"文化の秋"です。――市展と文芸祭もいよいよ近づきました。

「市民文化の発表の場をもうけ、文化をまちいっぱいに」と始められたこの秋の行事は今年で市展が七回目、文芸祭は五回目を迎えます。――あなたも気軽に作品を発表してみませんか。ぜひ"市民ぐるみの文化祭"を大きく盛りあげてください。

第7回 市展
11月7日～9日

■期間…十一月七日から九日までの午前九時から午後六時まで

■会場…市民会館

■応募資格…新津市在住、勤務または関係のある高校生以上の人

■作品…出品作品は、日本画、洋画、版画、彫塑、工芸、書道、写真の七つの部門で、出品点数は一人各部門とも二点以内で創作作品であること。（規定事項は上の表のとおりです）

■出品料…無料

■出品申し込み…十月十五日から三十一日までに公民館（市民会館内・☎二―九六六六）へ

■作品搬入…十一月四日の午前九時から午後五時まで、五日の午前九時から午後三時まで

■作品搬出…十一月十日の午前九時から午後七時まで

※なお今年も展示後、部門別の合評会が計画されています。

市展応募規定

部門	種別	規定事項
第1部	日本画	紙本、絹本とも枠張り表装
第2部	洋画	油絵、水彩、パステル、そのほか額ぶち付き
第3部	版画	額ぶち付き
第4部	彫塑	等身大以内
第5部	工芸	漆工、金工、木工、竹工、陶磁、染織、人形、七宝、そのほか　パネルの場合は洋画に準じる
第6部	書道	枠張り表装、または裏うち仮巻　必ず釈文添付のこと
第7部	写真	半切以上、パネル張り、組写真は全紙3枚まで　人物撮影はモデルの展示了解をえてあること

第5回 文芸祭
しめ切りは 9月29日

□応募資格…新津市在住、および市内に勤務している高校生以上の人

□作品…募集作品は小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳の六部門で、各部門とも一人一編または五首（句）とします。

□申し込み…文芸祭事務局（公民館内・☎二―九六六六）へ。

□しめ切り…九月二十九日

□作品発表…十一月の市展にあわせて発行する「文芸にいつ」第五号に原則として応募作品全部を掲載。

※なお今年も恒例の「文芸祭記念講演」を十一月に開くことにしています。

文化祭応募規定

小説	400字詰原稿用紙	50枚以内
随筆	400字詰原稿用紙	5枚以内
詩	1編	
短歌	5首	
俳句	5句	
川柳	5句	

第4号まで発行されている「文芸にいつ」

―お買物、ご用命は市内で―

公文式数学教室 幼児から高校数学まで一貫した教材
学年ではなく学力に合わせた個別指導
●入会金…3,000円　●本代…650円(入会時)　●学習曜日…火曜日・金曜日
●会　費(教材費を含む)…幼・小学生4,000円・中学生以上5,000円
山谷町教室 02502(2)2458　新津市山谷町一丁目　福王寺　小嶋　史
滝谷町教室 02502(4)1461　新津市滝谷町8－46　石川　史子
個人別・学力別指導の 公文数学研究会
是非一度教室をおたずね下さい。

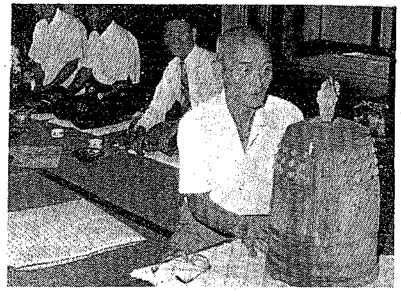
三十五年ぶりに里帰り

飯柳の半鐘、石川県の持ち主へ

――涙で再会――

戦争中、武器をつくるため石川県から回収された寺の半鐘が、その後、当市の飯柳の火の見やぐらで三十五年間活躍。さきごろ持ち主がわかり里帰りしました。

今回は、このまちの話題にスポットをあてました。



思い出の半鐘と35年ぶりに対面して喜ぶ吉田さん

この半鐘は、能登半島の先端の珠州市妙珠寺から金属回収で戦中、新潟に運ばれてきたもの。運よく溶かされずに"生き残り"、縁あって当市飯柳の火の見やぐらに三十五年間、村の守り役として活躍していたものです。

――昭和十八年、「金属回収令」が出されました。戦争で不足した金属を集めるための命令でした。当時、ナベやかままで出したという記憶をお持ちの方もいらっしゃるのではないでしょうか。

これらの鉄類は、富山、石川県のものまで新潟の鉄工所に集められましたが、溶かされずに終戦を迎えたこの半鐘は、戦後すぐ飯柳の火の見やぐらに配分されました。

一年ほど前、図書館で市内の鐘を調査した際、これが石川県のものとわかり、今回、やぐらの撤去にともなって以前の持ち主へ渡されたものです。妙珠寺の住職の吉田さんは、目を丸く見ひらいて半鐘を確かめ――「この半鐘は約二百年前につくられたもの。私が小さいころから寒い日も毎日毎日、鳴らしてきたものです。涙を惜しんで供出したときはあきらめていたのに…。ほんとにうれしいです」と大感激。一方、部落の代表も「村の守り役が行ってしまうのはさみしいけれど、無事帰ってくれれば…」と別れを。

半鐘は住職に大事にかかえられ、故郷、能登の寺へ三十五年ぶりに帰路につきました。

飯柳にあった半鐘

ばく書のため図書館休みます

期間は 9/28～10/12

図書館では、ばく書（本の虫干し）を行うため次の期間中、休館します。

なお学習室も休館ですが、視聴覚ホールや研修室は使えます。

■休館する期間
九月二十八日～十月十二日

鯉を追って"奮闘"

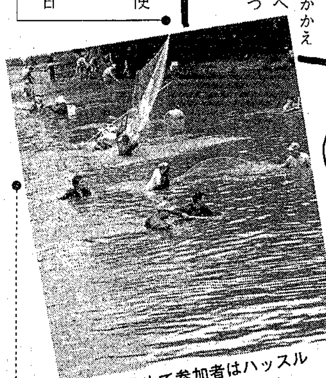
古津の鯉とり

先月末、古津部落の青年会が恒例の"鯉とり競争"の大会を開きました。

この大会は、今から六十五年前に部落の青年たちが地区の二つの用水池を利用して始めたもの。耕地整理が行われる前は、湿田で育った鯉を青年会で買い受け、さらに一年間池で放した後にとらせていましたが、現在は鯉の育つ田もないため事前に買ってきたものを池に入れておくとのこと。

部落の祭礼のメインエベントを飾るこの大会は、たくさんの人が見守るなかで行われる秋をつげる行事です。

今年は水が冷たいため池に入る人は例年よりやや少な目でしたが、参加者は泥んこになりながら鯉を追いかけ奮闘していました。



大物求めて参加者はハッスル

県勤労者美術展で作品を募集

第三十回新潟県勤労者美術展の作品が募集されています。作品は次の各部門で、一人二点以内。未発表のものに限ります。

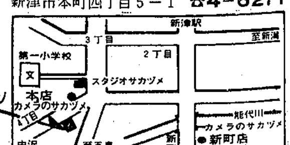
■部門…日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真

応募期間は九月三十日まで、ご自分の住所地、または勤務地を管轄する労政事務所へ、応募手数料一点につき五百円をそえて申し込んでください。

くわしくはもよりの労政事務所、または県商工労働部労政課（☎新潟局23―五五一一内線三二八八）へ照会してください。

―お買物、ご用命は市内で―

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院
預り・健康管理　〈月曜日休診・急患随時〉
ニイツ動物病院
獣医師　白杉友義・獣医師　白杉多恵子
新津市本町2丁目7番21号　☎2-5976・4-6262
（総合結婚式場「一楽」より五泉方面へ200m左側）

文部省認可
婚礼出張撮影
免許・証明写真
お見合写真
駐車場あり

スタジオサカヅメ
新津市本町四丁目5－1　☎4－6211